

アガへ No.52

総主事 堤 弘雄

心の中の戦争と平和

先日、広島平和文化センター理事長のステイブン・リーパー氏の話聞く機会を得ました。彼は、人間同士が対立した時の解決策として2つの形について説明されました。一つは、徹底的に相手と戦って対立した相手を排除する形です。もう一つは、お互いに違いを認識しつつも許し合い共存する形だということでした。戦争は戦って相手の命を奪うことによって相手を抹殺する行為です。敵味方、戦う者同士の間にはお互いに恐怖心や不信感、怒りなど不安で満ち溢れてしまうのではないのでしょうか。

さて、私たちが日常生活の中で個人やグループを問わず誰かと対立し、相手がいなくなってしまうばいいと思ってみたり、恐怖心や不信感や怒りが心の中に満ち溢れ、不安な時を過ごすことがあるのではないのでしょうか。これは、国や地域間の紛争や戦争とは違いますが、心の状態は戦争と同じ状態だと思うのです。このような状況を招くのはある意味ではどうしようもない人間の弱さのせいかもしれません。

しかし、よく考えてみますと、人間の一生には時間的な限りがあり、その限りある大切な人生の時間を「許せない」または「許さない」ことから来る不安に満ちた心で過ごすのは愚かなことです。そう考えると、対立や争いを人間の弱さを理由に肯定してしまうとはできません。対立を和解へと導くためには憎む相手を許し、神様のご計画により与えられた大切な「いのち」同士として共存することからしか何も始まらないと思うのです。

聖書には、「目には目を、歯には歯を」ではなく、敵を愛し、自分を迫害するもののために祈れとあります。自分(人間)の弱さを超えて、平和をつくりだすことができる存在でありたいものです。



YMCAの水上安全思想に基づき実施された講習会は、パディシ

水上安全キャンペーン
 教職員対象の水泳指導講習会

YMCAは、夏の水難事故から子どもたちの大切な命を守るために「水上安全キャンペーン」に取り組んでいます。着衣泳体験や救急法講習会のほか、熊本市内・近郊の小学校と保育園、幼稚園で水上安全講習会や、水上安全を啓発するハンドブックの配布を行っています。6月9日(水)、キャンペーンの一環で、上益城郡の女性教職員対象の水泳指導実技講習会が御船町スポーツセンタープールで行われました。

STEM(お互いの安全を確認する方法)や初心者、水が苦手な子どもへのケアの仕方などに始まり、浮き方やクローラーの呼吸法まで、盛りだくさんの内容でした。

参加した約20名の先生方は熱心に取り組んでいただき、あつという間の1時間でした。補助の仕方や声のかけ方など、質問も多くあり、積極的な意見交換がなされました。終了後は、「楽しかったです」「ポイントがわかりました」「早速、明日の授業で今日のことを思い出しながら実践してみます」「また受けたい」など、うれしい言葉をいただきました。さらに水泳の授業が充実し、たくさんの子どもたちが水泳を好きになってもらえると、私たちYMCAのスタッフもうれしいです。

健康教育部
 緒方由美子

県高校定時制通信制体育大会
 初出場の2名が大健闘

6月6日(日)、熊本県立体育館で行われた、第60回熊本県高等学校定時制・通信制体育大会のバドミントンの部男子シングルスにおいて、YMCA学院高等学校2年の川口雅史さんがシードから4試合を勝ち抜き、見事準優勝を果たしました。同じく女子シングルスに出場した生徒は2回戦に進出。2名とも初出場ながら大健闘しました。



川口さんは中学生の頃から本格的にバドミントンを始め、現在週に6回の練習を重ねるほどのバドミントン好き。YMCA学院のバドミントンクラブにも所属しています。また、小学生時代にはYMCAサッカークラブに在籍していたそうです。

同大会で一番人気のバドミントンには、例年150〜200名もの参加があり、その中で川口さんが手にした準優勝の快挙。川口さんは、8月17日(火)から20日(金)にかけ神奈川県で行われる全国大会に熊本県チームとして団体・シングルスに出場します。



総主事の堤さんと川口さん

感謝とともに
 花束を贈る花の日

6月2日曜日の「花の日」にちなみ、お世話になっている人たちに感謝の気持ちを届けようと、水前寺幼稚園園長のつばめ組・ひばり組の園児43名が介護老人保健施設「湧心苑」を訪問し、各家庭から持ち寄って作った花束を、施設の職員に渡しました。その後も、施設を利用するおじいちゃん・おばあちゃんに肩たたきやマッサージをしてあげるなどふれあい、園児はうれしそうな表情を見せました。



父の日に親子で似顔絵に挑戦

開催日時/2010年6月20日(日)14時〜15時半
 開催場所/むさしYMCA

父の日プログラムとして「親子がお絵教室」が行われ、親子9組が参加しました。最初に、親子で交互に線を引き、できた形に色を塗る遊びを通してコミュニケーション。その後、描き方のコツを教わり、真剣に似顔絵を描き始めました。でき上がったお父さんたちの絵は力作ぞろい。一方、子どもたちもお父さんの特徴をよくとらえていて、微笑ましくなる作品ばかり。梅雨空に晴れ間が見えた一日でした。

